

予報の聞き方

油断大敵——台風に備えるために必要なのは、何といっても正確な情報と心の準備でしょう。このどちらかでも欠けると、思わぬ台風の被害にあうことがありますから注意しましょう。

正確な情報を得るための予報の聞き方と心の準備について考えてみました。

▽刻々変わる

台風の進路

一度の予報ですべてを判断しない台風が近づくと、テレビやラジオを通じて「台風情報」が発表さ

れます。その情報を一度だけ聞いて、自分で判断を下すのは大変危険です。

台風の進路や勢力は、まるで生き物のように刻々と変化するからです。朝の予報では夕方ごろに上

陸との見通しも、午後になって急に早まったり、遅くなったりということがよくあります。

正確な情報を得るためには、一度の予報だけでひとりよがりな判断はせず、次々に出される予報を注意深く聞いて、その都度判断するようにしましょう。

▽地元の子報を最優先

一口に台風の子報といっても、全国的な予報と、地元の気象台から発表されるものとは、表現に多少の違いがあることがあります。地元の気象台の場合、地元特有の気象状況を踏まえてより細かい点

市内に二十一か所ある避難場所を示す標識

に注意が払われるからです。予報がくい違っている場合は、地元の子報を優先してください。

台風に備えて

正確な情報と心の準備で 台風の被害を防ごう

心の準備

▽台風の特徴、地域の特性を知ろう

台風情報では、その台風の東側に強い暴風域があるとか、北側に豪雨域をともなっているなどと報じます。その情報をもとに、それぞれの台風の特徴を知り、同時にあなたの住んでいる土地の特性——どんな災害が起こりやすいかなど——を知ることが、台風に対する心の準備をするうえで大切なことです。

例えば、近くに川や沼があり、出水の危険のある場所に住んでいる

る人の場合、豪雨域をともなう台風の場合は、よりいっそうの注意が必要ということになります。

▽台風の大きさ

強さの関係を知ろう

台風情報では必ず「大型で並みの台風」などというように、台風の大きさと強さをあわせて発表します。この大きさと強さは必ずしも正比例しませんので注意しましょう。「小型だから安心」などとたかをくくっていると、強い台風だったりますことがありますから注意しましょう。

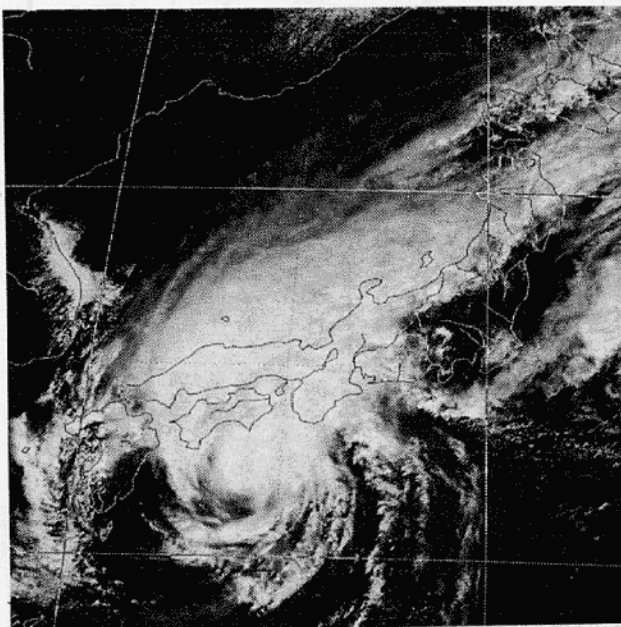
▽非常用品を備えよう

また、最初の子報では「小型で並み」の台風でも、だんだん大きくなり、勢力を強めることもあり、ますので、台風のゆくえとともに、大きさと強さの変化に注意を払いましょう。

台風が近づいたら、いざというときのために、次のようなものを用意しましょう。

◎懐中電燈、トランジスタラジオ（予備の電池も）、当面の食料品、水筒、応急医薬品（かぜ薬、胃腸薬、傷薬、消毒薬、ガーゼなど）、ビニール袋、そのほかお金などの携行品

これらの非常用品をいつでも持ち出せるようにすると安心です。



昭和55年10月14日、気象衛星「ひまわり」から送られてきた台風19号の写真